

開会挨拶

皆様こんにちは。運輸総合研究所会長の宿利正史です。

お忙しい中、本日も多くの皆様に会場にご来場いただき、また、国内外からオンラインで大変多くの方が視聴されていらっしゃいます。真にありがとうございます。

本日は「第5回 JTTRI グローバルセミナー」として、インドの首都圏交通公社初代総裁を務められた Vinay Kumar Singh 氏をお招きし、「インドの大都市圏における鉄道整備と沿線開発」というテーマで開催いたします。

さて、今日、日本が抱える交通運輸及び観光分野の諸課題を乗り越えて前進するためには、国際的な情勢・動向や国際的な知見を正確に把握し、十分に咀嚼し、比較分析した上で、日本にとって最善の政策を策定し、断固として実行することが不可欠です。そこで、当研究所では、交通運輸及び観光に関連する重要な国際情勢や政策の動向等について、海外の有識者や当事者から直接に講演や対談をしていただき、それを参考にして考察を深めるための「JTTRI グローバル・セミナー」を2022年から開始しました。本日は、このシリーズの第5回目です。

2024年5月には、このシリーズの第4回目として、シンガポール陸上交通庁のチーフ副長官をお招きし、「シンガポールにおけるモビリティの変革～鉄道政策に焦点を当てて～」というテーマで開催しました。今回はインドの鉄道を取り上げます。インドでは今、首都デリーの中心部への人口集中、交通混雑及び大気汚染を抑制し、期待されるインドのさらなる経済成長の制約を取り除くため、半径100kmを超える広範囲な郊外とデリー中心部を準高速で結ぶ8路線の鉄道を整備するという大変野心的なプロジェクトが進行中です。このプロジェクトの最初の路線の整備事業の立上げから建設と運行開始までを責任者として主導し、かつ、公共交通指向型開発(TOD)を積極的に組み込みながら、このプロジェクトの遂行に当たってこられた、

首都圏交通公社の VK Singh 初代総裁にご登壇いただきます。同氏による基調講演とパネルディスカッション・質疑応答を通じて、インドにおける最新の鉄道整備と沿線開発の状況について理解を深め、今後の鉄道整備と沿線開発に関する施策の手掛かりや、日印両国の鉄道分野における連携・協力関係の可能性について考察を深めていただければ有難いと考えております。

VK Singh 氏のご略歴については、後ほど司会者から紹介いたしますが、私からは、国際高速鉄道協会 (IHRA) を通じた10年余りに及ぶこれまでの VK Singh 氏との交流・連携の一端をご紹介したいと思います。

..... (途中略)

VK Singh 氏がインドの鉄道分野で極めて大きな貢献をしてこられて、その成果が実現していることを、皆様今日は是非お聴きとりいただきたいと存じます。

次に、公務ご多忙の中、本日来賓のご挨拶をいただきます国土交通省の寺田吉道国土交通審議官に、御礼申し上げます。寺田国土交通審議官には、昨年2月にフィリピンのマニラで、また9月にインドネシアのジャカルタで、当研究所が主催した「物流シンポジウム 2025」において、基調講演をしていただきました。また、2024年10月に米国ワシントン D.C. で開催した「経済安全保障のためのシーレーンの安全確保とサプライチェーンの強靱化シンポジウム 2024」でも基調講演をしていただき、さらに来月26日にワシントン D.C. で米国公共交通協会 (APTA) と共催する予定の「日米鉄道シンポジウム 2026」においても基調講演をお願いしております。

また、本日のパネルディスカッションにご登壇いただきます、東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻の加藤裕徳教授、阪急電鉄株式会社取締役専務取締役の上村正美様、国際協力機構 (JICA) インフラ技術業務部長の斎藤光範様、首

都圏新都市鉄道株式会社代表取締役社長の渡邊良様に御礼申し上げます。

加藤先生は、当研究所の理事であり、日頃から当研究所の研究活動に暖かく、かつ強力なご指導をいただいておりますが、2024年1月に当研究所が開催した欧州の鉄道政策に関する第3回JTTRIグローバルセミナーにおいて、パネリストを兼ねてモデレーターを務めていただきました。阪急電鉄の上村様には、2024年4月に当研究所が米国のワシントン D.C.で米国公共交通協会(APTA)と共催した「日米鉄道シンポジウム 2024」のパネルディスカッションで、米国に方々に、都市鉄道の整備と沿線開発に関する阪急の小林一三モデルを紹介して、鉄道整備と沿線開発を一体的に行うということがどういうことか、米国の方々にも理解をしていただきました。JICAの斎藤様は、2度目のインド赴任として2021年から2024年までの間インド事務所長として活躍され、デリーメロを含むメロの整備、高速鉄道プロジェクトその他の鉄道プロジェクトに限らず、日印間の広範な協力関係にJICAの立場で直接関わってこられました。それから、東京メロでのご勤務もされ、鉄道分野に大変造詣が深い渡邊様は、つくばエクスプレスの運営主体であり、さらに延伸を行うという課題を抱えている首都圏新都市鉄道の社長を務めておられます。本日VK Singh氏からお話いただく首都圏の中心部と郊外を結ぶインドのプロジェクトに類似する日本の直近の例は、2005年に都心と首都圏北東部方面を結んで開業したつくばエクスプレスですが、今後のさらなる延伸という課題を抱えており、渡邊様にはそういう立場で本日はご協力をいただきたいと存じます。

なお、本日のセミナーの最後には、ご参加の皆様との質疑応答の時間も用意しています。その後の名刺交換の時間も含めて、本日のセミナーを有効にご利用いただければ有難く存じます。

最後になりますが、本日のグローバルセミナーが、ご参加いただいています皆様にとりまして、何らかの気づきまたは手掛かりを提供するものになれば、主催者として大変有難く存じます。本日は、皆様のご参加に改めて感謝申し上げます。